

国立大学における男女共同参画推進の実施に関する 第20回追跡調査について(概要版)

一般社団法人 国立大学協会
教育・研究委員会 男女共同参画小委員会



国立大学協会では、男女共同参画推進に関する各大学の取組状況の把握、各大学や関連機関への情報提供を目的として、『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査』を2001年以降継続的に実施してきました。また、2011年からは、5か年ごとに「国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン－」を策定、2021年には、第3次となる「国立大学における男女共同参画推進について－アクションプラン（2021年度～2025年度）－」を策定し、2025年度までの5年間を見通して国立大学が達成すべき目標と、そのために取り組むべき事項を設定しました。

このたび、第20回目の調査を実施いたしましたので、その結果を公表いたします。

- ▷アクションプラン https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/danijo_actionplan2021-2025.pdf
- ▷報告書の全文 https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/202401houkoku_01.pdf

【アクションプラン（2021～2025）に掲げる達成目標】

（1）女性教員比率

2025年までの女性教員比率については、国立大学全体としての目標値24%以上に加えて、大学の特性別区分に合わせた目標値を併せて設定することが望ましい。各区分は原則として女性教員比率を5年間で6%以上（各大学において1年ごとに1.2%以上）増加させることを目指すが、理工系大学についてはそもそも女性教員や女子博士課程学生が少ないことを考慮し、5年間で3%以上（各大学において1年ごとに0.6%以上）の増加を目指すこととする。したがって、2025年までの区分ごとの達成目標は、総合大学24%以上、理工系大学14%以上、文科系・医科系・教育系大学31%以上とする。

（2）指導的地位に女性が占める割合

国立大学全体の学長・理事・副学長については20%以上、大学の意思決定機関等（学長補佐、部局長、監事、経営協議会委員、教育研究評議会評議員等）は20%以上、教授は20%以上、准教授は30%以上、課長相当職以上は25%以上と、職階ごとに、2025年までに女性が占める割合の目標値を設定する。

第20回追跡調査結果の概要

（1）女性教員比率

2023年5月1日現在の国立大学全体の女性教員比率は、2022年5月1日現在の18.7%から0.6%増加して19.3%となりました。

特性別区分ごとに女性教員比率をみると、総合大学19.2%、理工系大学12.7%、文科系・医科系・教育系大学26.1%でした。

〈大学の特性別区分ごとの女性教員比率〉

	総合大学	理工系大学	文科系・医科系・教育系大学	計
第18回(2021)	18.2	11.6	25.0	18.3
第19回(2022)	18.6	11.8	25.2	18.7
第20回(2023)	19.2	12.7	26.1	19.3

第19回調査（2022）と比較して、女性教員比率が年1.2ポイント（理工系大学では年0.6ポイント）以上増加した大学は計24大学、また、特性別区分ごとの目標を達成した大学は計14大学でした。

〈第19回と比べて、年1.2ポイント（理工系大学では年0.6ポイント）以上増加した大学数〉

	総合大学	理工系大学	文科系・医科系・教育系大学	計
第19回(2022)	7	4	5	16
第20回(2023)	9	9	6	24

〈特性別区分ごとの達成目標を達成した大学数〉

	総合大学 (24%以上)	理工系大学 (14%以上)	文科系・医科系・教育系大学 (31%以上)	計
第19回(2022)	4	6	2	12
第20回(2023)	4	6	4	14

▷ 第19回と比べて、年1.2ポイント（理工系大学では年0.6ポイント）以上増加した大学数

24大学（前回調査比8大学増）

【総合大学】

山形大学（2.5ポイント増）、京都大学（2.1ポイント増）、愛媛大学（2.1ポイント増）、山梨大学（1.8ポイント増）、福島大学（1.7ポイント増）、岐阜大学（1.7ポイント増）、弘前大学（1.6ポイント増）、秋田大学（1.3ポイント増）、茨城大学（1.3ポイント増）

【理工系大学】

帯広畜産大学（2.3ポイント増）、東京農工大学（1.6ポイント増）、東京工業大学（1.6ポイント増）、北陸先端科学技術大学院大学（1.3ポイント増）、奈良先端科学技術大学院大学（1.3ポイント増）、室蘭工業大学（1.0ポイント増）、北見工業大学（1.0ポイント増）、長岡技術科学大学（0.9ポイント増）、九州工業大学（0.9ポイント増）

【文科系・医科系・教育系大学】

一橋大学（4.3ポイント増）、東京学芸大学（3.4ポイント増）、宮城教育大学（3.2ポイント増）、奈良教育大学（2.4ポイント増）、旭川医科大学（1.7ポイント増）、東京藝術大学（1.6ポイント増）

▷ 特性別区分ごとの達成目標を達成した大学数 14大学（前回調査比2大学増）

【総合大学】

お茶の水女子大学（44.1%）、奈良女子大学（41.3%）、総合研究大学院大学（28.0%）、長崎大学（24.4%）

【理工系大学】

筑波技術大学（26.7%）、東京農工大学（17.3%）、奈良先端科学技術大学院大学（15.9%）、長岡技術科学大学（14.9%）、帯広畜産大学（14.6%）、京都工芸繊維大学（14.3%）

【文科系・医科系・教育系大学】

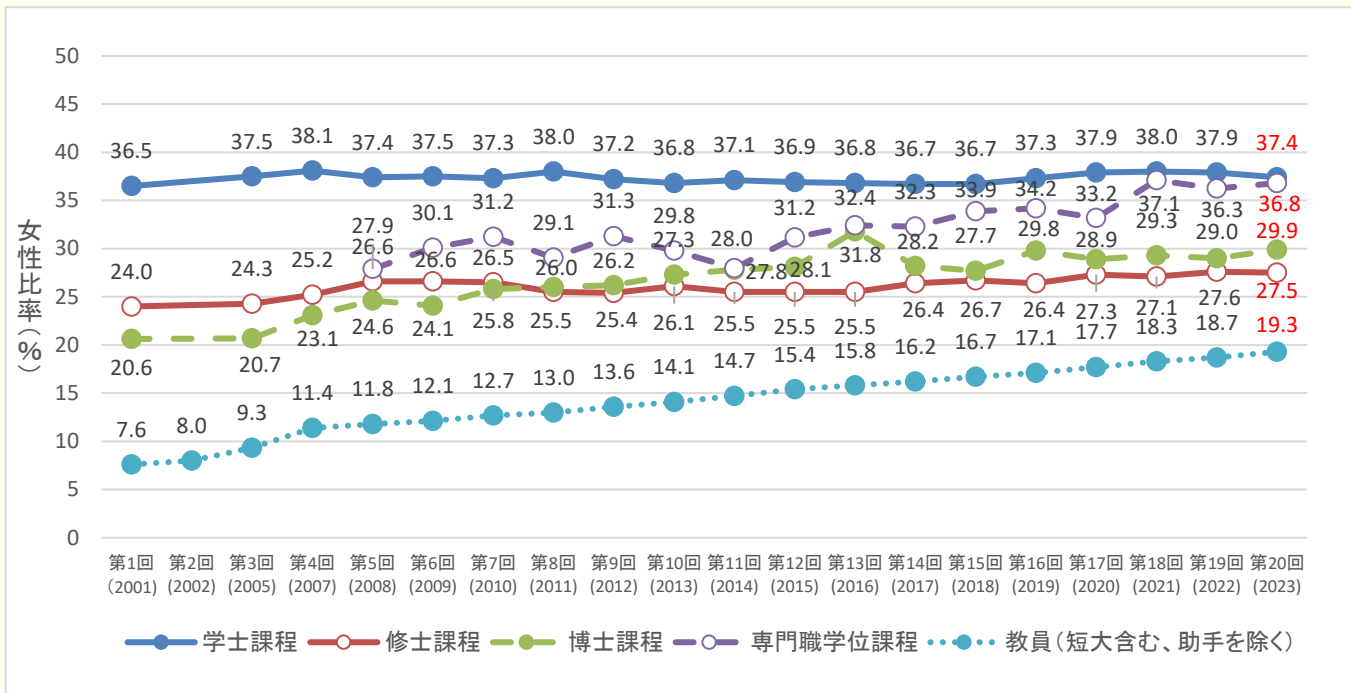
東京外国語大学（45.5%）、東京藝術大学（34.1%）、東京学芸大学（31.3%）、大阪教育大学（31.1%）

▷ 前回調査より女性教員数が10人以上増加した大学数 18大学（前回調査比8大学増）

京都大学（75人増）、愛媛大学（48人増）、一橋大学（30人増）、東京大学（29人増）、山梨大学（24人増）、東北大学（21人増）、北海道大学（20人増）、山形大学（20人増）、東京工業大学（15人増）、東京学芸大学（14人増）、弘前大学（13人増）、岐阜大学（12人増）、名古屋大学（12人増）、福島大学（11人増）、新潟大学（11人増）、大阪大学（11人増）、秋田大学（10人増）、神戸大学（10人増）

〈参考：大学における女性比率〉

第 20 回調査（2023 年度）における学生（学部・大学院の卒業・修了者数）の女性比率は、学士課程 **37.4%**（前回比 0.5 ㊦減）、修士課程 **27.5%**（前回比 0.1 ㊦減）、博士課程 **29.9%**（前回比 0.9 ㊦増）、専門職学位課程 **36.8%**（前回比 0.5 ㊦増）となりました。また、教員の女性比率は **19.3%**（前回調査比 0.6 ㊦増）となりました。

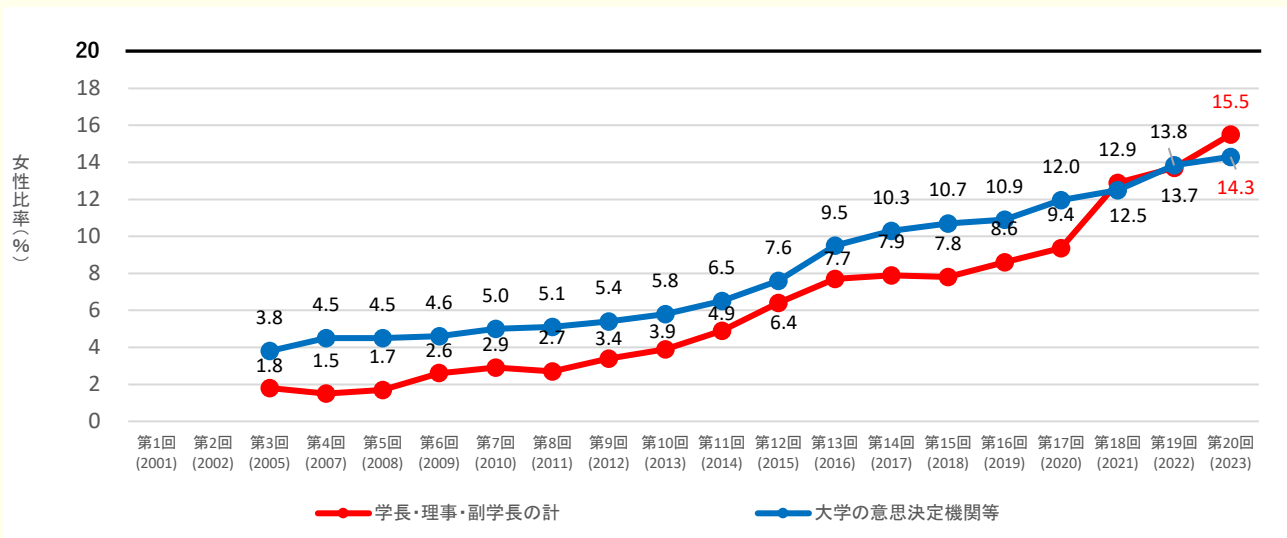


※第 2 回調査では、学生について調査を行っていない。

※第 4 回調査からは、学校教育法の改正により従来の助手が「助手」と「助教」に分けられたことにより、助教がデータに含まれている。

(2) 学長、理事、副学長*及び意思決定機関等**に占める女性比率

2023 年 5 月 1 日現在の学長、理事、副学長の合計の女性比率は **15.5%** となり、前回調査より 1.8 ㊦増加しました。また、大学の意思決定機関等における女性比率は、前回調査より 0.5 ㊦増加して **14.3%** となりました。

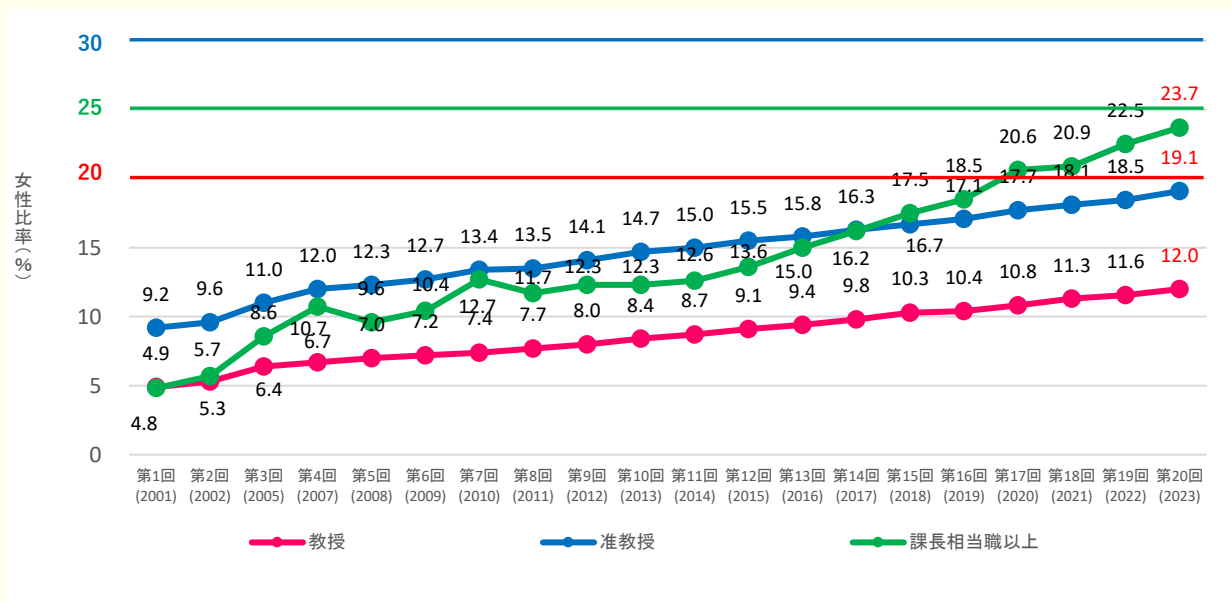


※「学長、理事、副学長」には、第 18 回から非常勤理事を含む。

※※大学の意思決定機関等における女性比率＝学長補佐、経営協議会・教育研究評議会委員、部局長、監事、非常勤理事（第 17 回まで）、大学運営に参画する外部委員、非常勤監事等の合計に占める女性の割合

(3) 教授、准教授、課長相当職以上の職員に占める女性比率

2023年5月1日現在の教授の女性比率は**12.0%**となり、前回調査より0.4%増加しました。また、准教授の女性比率は**19.1%**となり、前回調査より0.6%増加しました。課長相当職以上の職員の女性比率は、前回調査より1.2%増加して**23.7%**となりました。



▷ アクションプランを踏まえた各大学において特に成果を挙げた取組事例 (P163~P166)

- 女性評議員枠を原則7名とする運用 (事項1 関連)
- 優秀な女性研究者を「キャリアアップ教員」として選出する「女性上位職登用制度」「教授(キャリアアップ)」の新設、「2step キャリアアップ制度」と「早期正式昇任審査受審制度」の導入(女性上位職登用促進) (事項2 関連)
- 学長裁量ポイントを利用した雇用、女性限定のクロスアポイントメント制度の利用 (事項2 関連)
- 学童保育の継続的な運営や研究補助員制度の実施等のワーク・ライフ・バランス支援制度の整備 (事項3 関連)
- 連続セミナー「家族とジェンダー」及び若手研究者らの交流の場の創出を目的とした新企画「Yours & Youth Cross Talk」を開催 (事項4 関連)
- 2021年以降実施してきた部局別の女性の比率と、論文業績分析を基に考案した「女性活躍指標」との相関から、女性の採用・育成に関する現状や課題に関する検討を基に、新たに文部科学省の補助事業により国際調査展開、女性の活躍促進にむけた日本の課題を明らかにする取り組みを推進 (事項4 関連)

など

当協会ホームページに男女共同参画関連サイトを開設しております！
 アクションプランや第1回～第20回までの追跡調査報告書がダウンロード可能です。
<https://www.janu.jp/janu/gender/>